

相村建設株式会社

1. 会社としての安全管理重点事項

①安全衛生管理体制の確立

- ・安全衛生管理の確立・強化と自主安全及び相互安全体制の推進
- ・危険有害要因の予測を行い、災害防止対策の実施

②安全衛生教育の計画的実施（安全意識の高揚）

- ・社内、社外教育での安全教育の実施
- ・災害事例の活用と自現場の見直し

③心と身体の健康づくりの推進

- ・健康の保持、指導
- ・健康診断の完全実施

2. 現場等における具体的な取組事例

①橋脚耐震補強工事における安全管理上の課題

橋桁での橋脚コンクリート巻立て工事を行う上で、鋼矢板打込・クラムシェル等による掘削作業が行われる。施工基面から橋桁までが近接（H＝4.0m）していることから、重機・クレーンで橋脚及び架設されているガスパイプラインを損傷することが懸念された。



②課題に対して現場で行った安全対策

工学的な管理策として単管・鋼製足場板をクランプで橋桁に固定し、既設橋桁等の防護を講じた。また、標識／警告／管理策として、新規入場者教育での周知・重機作業時の誘導員の配置・注意喚起標識の設置を行った。



3. その他工夫している点

- ①現場を見渡せる場所にWebカメラを設置し、現場事務所のパソコン又は携帯端末で現場の画像をリアルタイムに確認出来るようにした。

【効果】

現場事務所での打ち合せや新規入場者教育の場面においてパソコンの画像を利用し、わかりやすい説明・教育が可能となった。また、撮影された現場の画像がパソコン・携帯端末でリアルタイムに確認することができ、防犯対策にも利用出来た。

- ②締切盛土上流部に自動水位観測計・連動式パトライト及びサイレンを設置した。

【効果】

大雨・雪解けによる増水時において設定水位に達した場合、即座にパトライト及びサイレンが自動起動し、現場従事者全員に作業中止・待避を周知できた。